

会員各位

医療・医薬品情報研究会

副代表幹事:松田 孝

平成 23 年 1 月研究会 (第 136 回) のご案内

読売新聞朝刊の連載記事「医療ルネッサンス」が始まったのは 1992 年 9 月 1 日から、既に連載は 19 年の長きに亘っている取材記事です。

スタート時は第一部『変わる医療現場』のタイトルの下、“開腹しない”内視鏡治療、脳腫瘍治療のガンマナイフ、脳ドックなどの最新医療技術を紹介した企画から始まりました。当初は読売新聞社東京本社の科学部、生活情報部、社会部、地方部、経済部など編集局各部の垣根を越えて結成された部際混成チーム『健康・医療問題取材班』としてスタートしたとの事ですが、現在では医療情報部として独立した部局となっています。1994年には、この企画が新聞協会賞を受賞、同時に当時の米国の製薬メーカー、アップジョン社(現ファイザー社)のアップジョン医学記事賞も受賞しています。医療をめぐる昨今の報道をみると、昨年、朝日新聞が報じた東大医科研の「癌ペプチドワクチンの臨床試験」を巡る報道の信憑性を問う問題があげられます。

日本医事新報 2010 年 12 月 18 日の記事によると、この朝日新聞の記事によって名誉を傷つけられたとして、東大医科研の中村裕輔教授と医薬品ベンチャー「オンコセラピ・サイエンス社」は、朝日新聞と記事の執筆者である論説委員、編集委員を相手取り損害賠償と謝罪広告を求める裁判を東京地裁に起こしたと報じています。この裁判の行方は、今後の医療問題を取り上げる報道に何らかの影響を与えるものと思われる。

今年最初の研究会では、医療報道のあり方等について、読売新聞医療情報部の田中秀一部長から、取材サイドからのものの見方・考え方について語って頂きます。多くの会員諸氏の出席をお待ちしています。

テーマ:「医療ルネッサンス」の取材から考える医療報道とは?

講師: 田中 秀一 氏 (読売新聞社医療情報部長)

- 日 時:平成23年1月27日(木) 15:00~17:00
- 会 場:飯田橋軽子坂「インテリジェントロビー・ルコ」 地図参照
- 出欠連絡は1月24日(月)まで(n_mizuno@ivory.plala.or.jp)宛に必ずご連絡を。
- 当日参加歓迎です(3,000円)

(医療・医薬品情報研究会)